

デーリー東北

2026年(令和8年)8月24日(月曜日) (11)

サッカークリニック



中高生を指導する名波浩さん(中央)

元日本代表・名波さん指導

プレの質高めるには

サッカー元日本代表で、ワールドカップ(W杯)北中米3カ国大会の日本代表コーチを務めた名波浩さん(53)によるサッカークリニックが22日、八戸工業大サッカー場「Blue Field」で開かれた。八戸市内の学校やチームに所属する中高生64人が参加し、日本屈指の技術と経験を持つ指導者からプレの質を高める秘けつを学んだ。(上條哲洋)

中高生、技術や心構え学ぶ

地域貢献やスポーツ科学の推進を目的に、同大スポーツ情報科学研究センターが主催した。ドリブルをしながらパスをする練習では、名波さんが「コミュニケーションを取りながら」「スピードはいろいろな、丁寧」と声をかけて回った。続くキックの練習ではインサイドでボールを蹴るお手本を披露。「まず順回転でまっすぐ転がすことをマスターしてほしい」とし土台となる基礎的な技術を磨く大切さを説明した。取材には「夢や目標、高い志を持つサッカー人が出てきてくれたら」と八戸の子どもたちにエールを送った。市立湊中3年の石田晟絆さん(14)は「A代表はコーチの名波さんと選手が思っていること、考えていることが通じていることを知った。自分も『監督がなぜこのトレーニングをしているか』を考えながら練習したい」と充実した表情を見せた。この日は講演会もあり、名波さんが「データと人間力の融合」現場から考えるスポーツ情報科学」と題して自身の経験などを語った。

※この記事・写真等は、デーリー東北新聞社の承諾を得て転載しています。